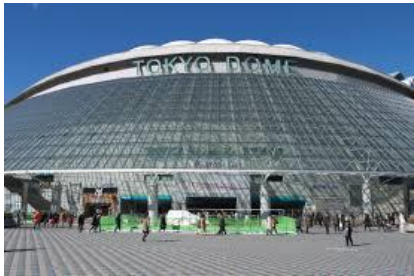


社会的孤立と多様な居場所づくり



文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係 係長 浦田 愛

文京区と文京区社会福祉協議会



歴史

- ・江戸時代に武家屋敷が多くあった
 - ・明治時代に文人・学者・政治家などが多く集まった
- ## 特徴

- ・出版・印刷の企業、大規模病院、教育機関が多い
- ・人口増加（マンションに若い世代が多く入居）
- ・高所得層が多い

面積	11.29km ²
総人口	226,630人
高齢者人口	43,498人
要支援認定者数	2,074人
要介護認定者数	6,047人
町会・自治会	154団体
民生委員・児童委員	141人
高齢者クラブ	2,826人
高齢化率	19.2%
要支援認定率	4.8%
要介護認定率	13.9%



昭和27年(1952年)に設立

組織のミッション

「だれもが安心して住みつつけられるまちづくり」

財源

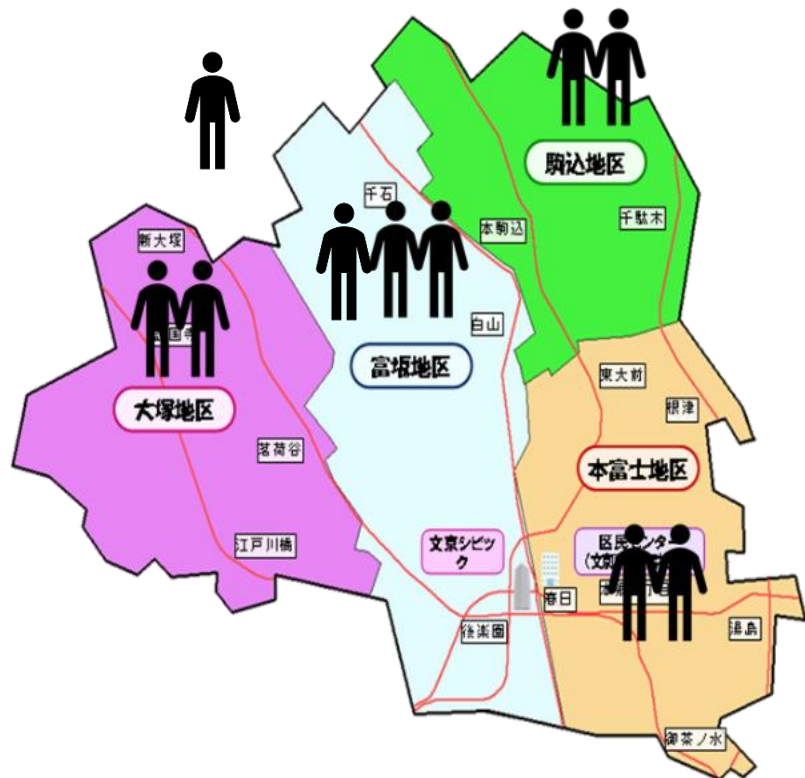
行政の補助金や寄付など

※社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき「地域福祉の推進」を目的に、全国・都道府県・市区町村のそれぞれに組織されている非営利の民間団体です

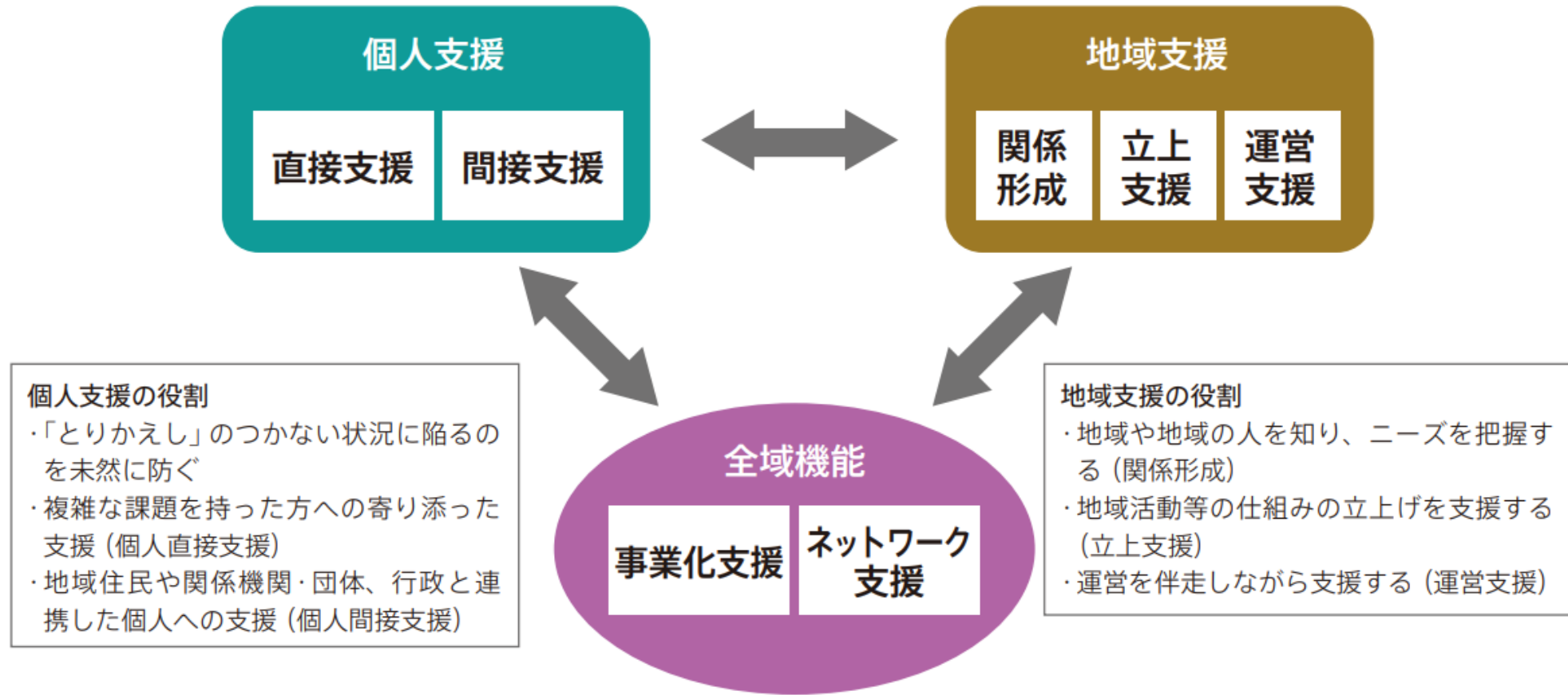
地域福祉コーディネーターの役割

地域福祉コーディネーターとは

住民等からの相談を受け、地域の中へ入り、地域の人々や関係機関と協力して課題を明らかにし、解決の方向に向けた支援をする。また、住民主体の地域活動に対する立ち上げや運営支援を行う中で、住民がより自主的に活動を発展できるような支援を行う。



地域福祉コーディネーターとは



個人支援：さまざまな相談の例

- ゴミ屋敷
- 近隣トラブル
- 社会的孤立している
- ひきこもり
- 経済困難

■ 相談経路

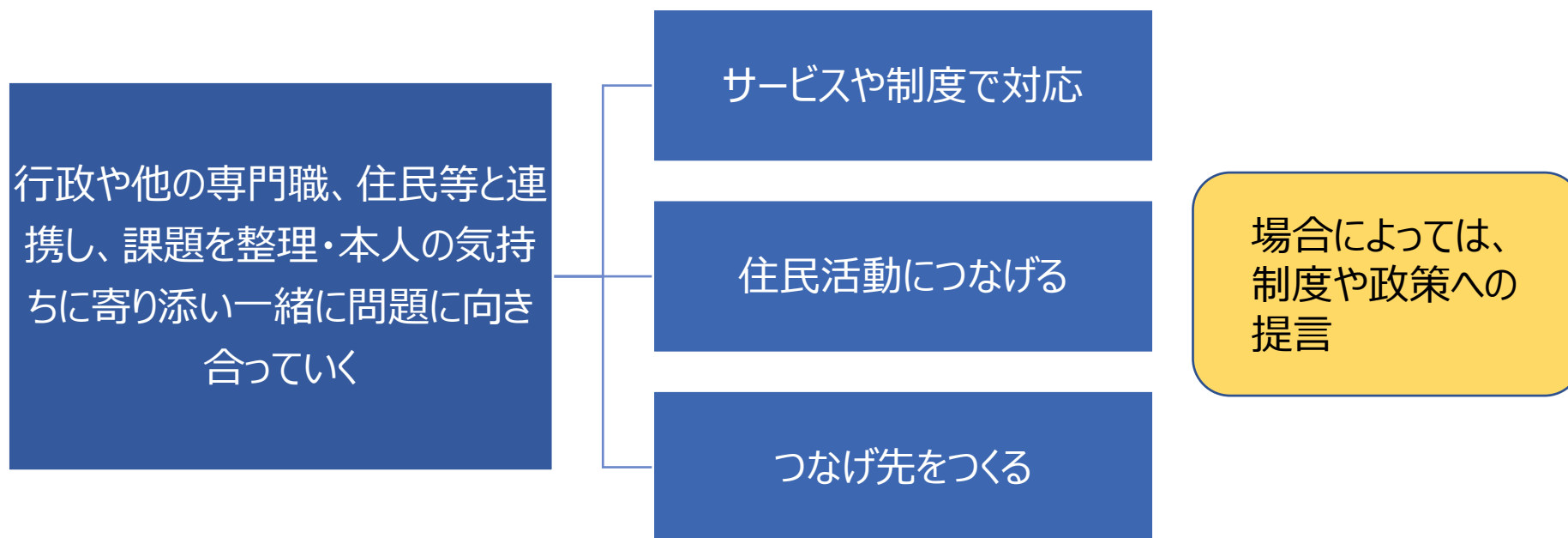
本人、行政、民生委員・児童委員、町会長、地域活動センター、区議など



制度の狭間

- 62歳男性 障害なし 貯金はある 3か月引きこもりで動けない働けない
- 40代女性 発達障害あり ワーキングマザー 育児への不安 家事ができない
- 50代女性 障害なし 30年外出していない 生活困窮状態 父母と急な別離
- 70代男性 病弱 介護保険のサービスとニーズ合わない 人と話したい
- 40代女性 障害あり 両親が片付けられない 両親を支えることへの不安
- 70代女性 東南アジア出身 孫の学習が遅れている 生活困窮していないが塾に行かせるほどの余裕がない 書類が書けない 娘は精神疾患あり

制度の狭間の課題への対応



自ら助けを求めない人が多い⇒早期発見が重要
早期発見をした後に、多機関連携が必要

地域支援：さまざまな相談の例

- サロン・子ども食堂を立ち上げたい
- 居場所づくりをしたい
- 町会でみまもり体制をつくりたい
- 子どもがいる外国人の親が交流する場が必要
- 地域のイベントに学生に協力してほしい

■ 相談経路

町会、民生委員、NPO・ボランティア、企業、青少年委員、子育て中のママ、行政の関係機関

つながりをつくる地域の居場所

「こまじいのうち」



文京区本駒込 5 - 1 1 - 4

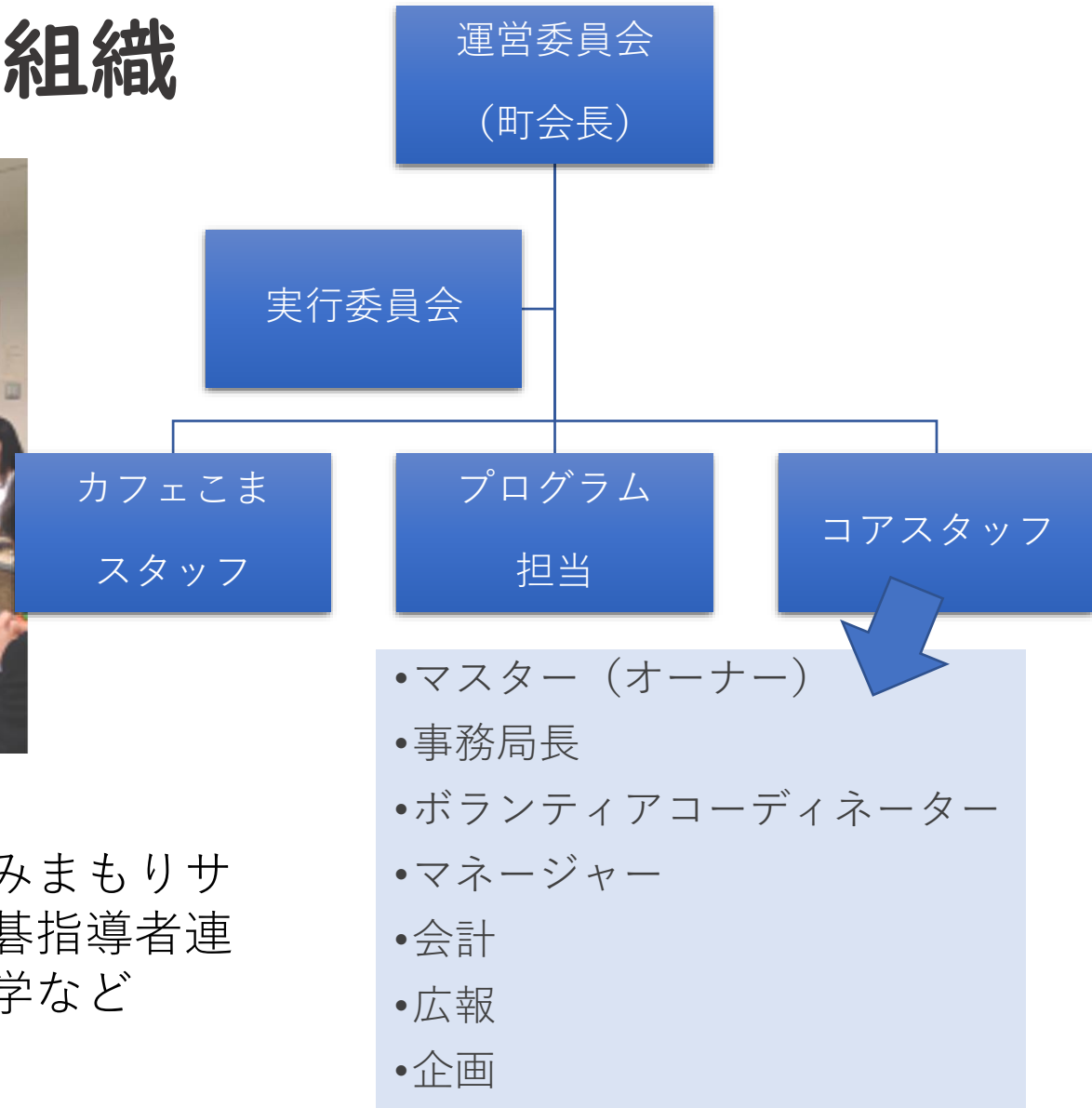


- 多機能な居場所づくり
- ・住民が主体的運営する
 - ・協議体形式
 - ・常設型
 - ・対象を選ばない

こまじいのうちの組織



実行委員会メンバー
町会長、民生委員、話し合い員、みまもりサ
ポーター、青少年委員、文京区囲碁指導者連
絡会、地域活動栄養士会、東洋大学など



こまじいのうちからの相談

- 認知症が進んでいるかも
- 子どもの発達が遅れている？
- ひとり親の親からの相談
- 子育てママの孤立
- 発達・知的障害がある人への対応
- 消費者被害??



地域福祉コーディネーターの役割
住民からの相談を受け、行政や専門機関へつなぎ
対応を協議する

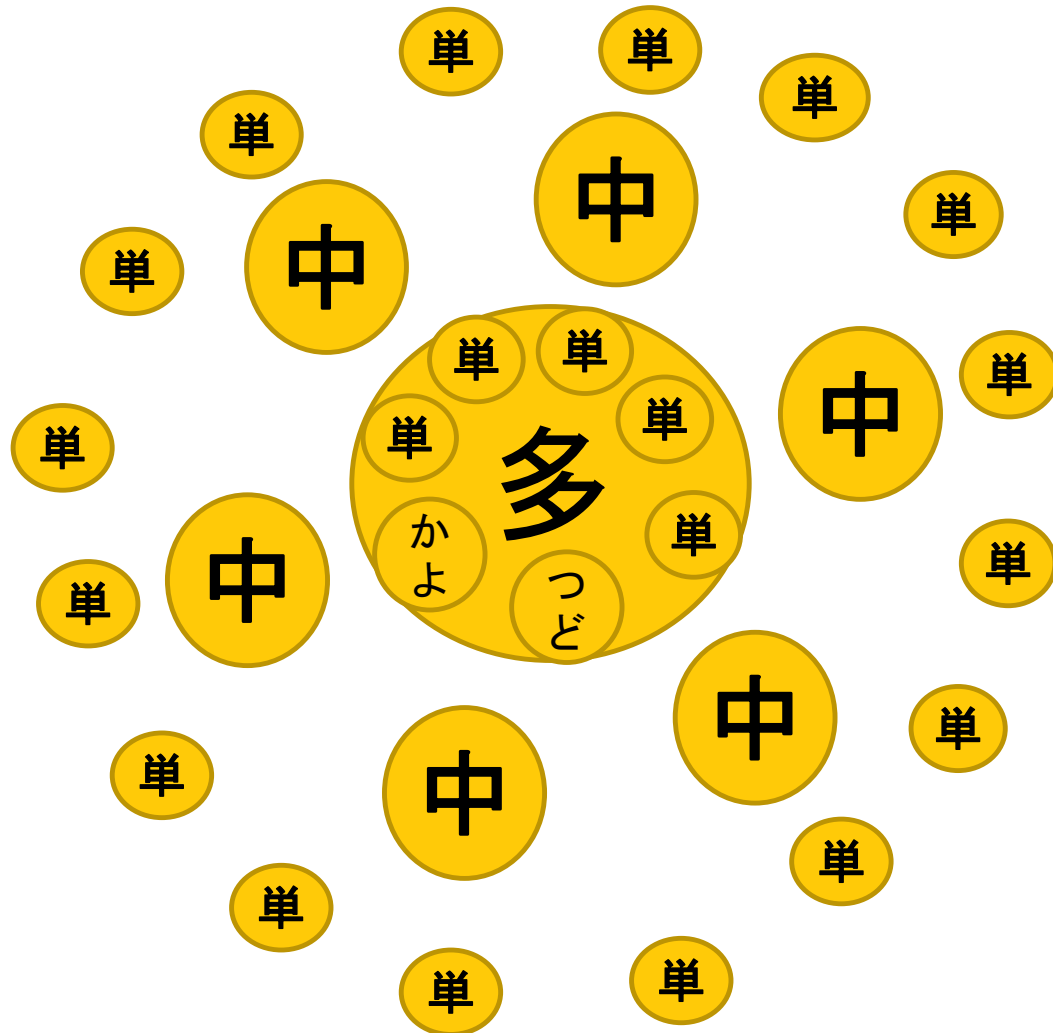
常設型の居場所とは？

- 「あそこに行けばあの人がいる」という心のよりどころ
- 力を発揮する場
- 地域とつながるきっかけになる場
- 学べる場
- 地域を変えるきっかけ

⇒ 気軽に立ち寄れる居場所
⇒ 多世代が集う居場所



地域の居場所のゴールイメージ



- 多機能型（常設、自主的・総合的運営+互助+交流、週3～4回）

例：こまじいのうち、だんだんひろば、風のやすみば、Reなでしこ元町、氷川下つゆくさ荘、こびなたぼっこ※、動坂テラス・坂下テラス、しゃべり間処かづさ屋、ぶんたねこいしか和

- 中機能型（互助+交流機能、週1回、月2～3回程度）

例：介護予防「かよい～の」、居場所「サロンプラス」、子ども食堂

- 単機能型（交流機能、月1回程度）

例：子ども食堂、ふれあいいきいきサロン

多機能型の居場所

- ・ 空き家や空き店舗を活用
- ・ 誰もがふらりと立ち寄れる
- ・ 多世代を対象としている
- ・ 住民が中心の実行委員会形式
- ・ 専門職に相談
- ・ 週3～4回以上

「わざわざ相談に行くほどではないんだけど...」

「私こういうことならできるよ」

④しゃべり商売 かづさや



⑥こまじいのうち



⑦-2 動坂テラス



③こびなたぼっこ※



⑦-1 坂下テラス



①風のやすみば



⑧ぶんたねこいしか和
(令和5年3月OPEN)



②氷川下つゆくさ荘



⑤Re^りなでしこ元町



氷川下つゆくさ荘

(千石3-3-7)



・ 実行委員会メンバー
町会、民生委員、企業、病院、建築家、PTA、ボランティア

こびなたぼっこ※ (小日向1-18-22)



元米屋が地域の居場所に！
町会、民生委員、ボランティアが中心
コロナ禍で活動スタート

坂下テラス & 動坂テラス (千駄木3-45-4/本駒込4-21-7)



坂下学習室・小学生の部

算数大好き！ 中学・高校でも数学スライク解ける！

このようなお子様を育てることを目指す教室です。

算数・数学は本来とてもおもしろい教科で、小学校1・2年生はほとんどの子どもが好きな教科の1つに挙げます。しかし、学年が上がるにつれて算数好きの子供は減っていき、中学・高校ともなると多くの生徒にとって最も難しく不得手な教科のナンバーワンになってしまいます。

その原因は様々な考えられるのですが、根本的に小学生の段階での算数学習の達成度が大きく関係しているのです。加減算における量のイメージ、筆算の上がり、くり下がり、のり、分数の意味と運用、比例の意味と運用、これらは全て小学校の算数ですが、中学・高校の数学の土台となるものです。1つ例をあげると、中学数学の1次関数・2次関数は比例グラフ、分数演算、割合等の算数をしっかり学習してあれば難しく理解できる単元です。そして高校数学の微分積分は中学数学の1次関数で学習する変化の割合の概念を土台にする単元なのです。

坂下学習室は、毎週火曜18:00～19:30に中学・高校生対象のクラスがあります。そして今般新たに小学生の部も設けることにいたしました。第2・第4水曜16:00～17:00定員4名です。ご希望があれば毎週開催いたします。それぞれのお子様の理解不足のところから、または、意欲をもって取り組めるところから個別指導をいたします。



みんなの交流スペース 動坂テラス

～3月プログラムカレンダー～

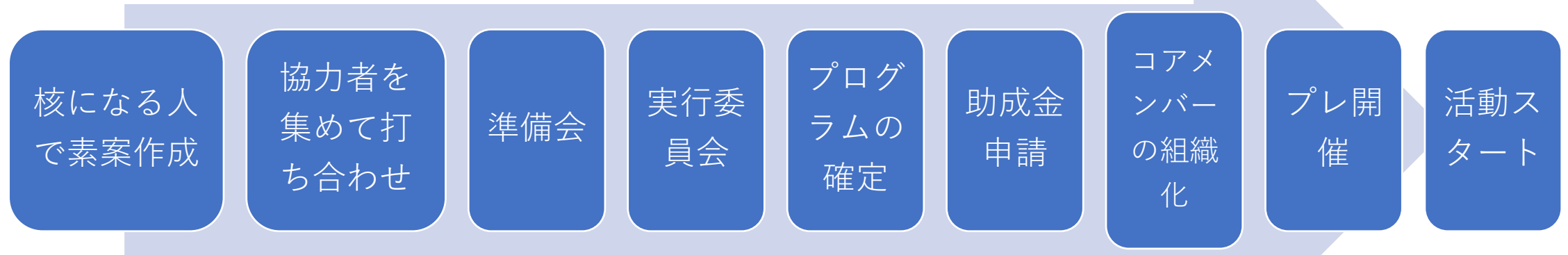
4月24日にオープンした地域の皆さんが交流できる場所です。情報交換や地域の仲間で、ちょっとした相談の場やひと休みする場としてご利用ください！予定が変更になる場合があります。お電話などでご確認ください。

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

【お問い合わせ】
動坂テラス(本駒込4-21-7)
動坂テラス代表 電話030-2209-8403
文京区社会福祉協議会03-5800-2942
メール: dozaka.terrace@gmail.com

公式LINE 公式Facebook

多機能な居場所の立上げプロセス

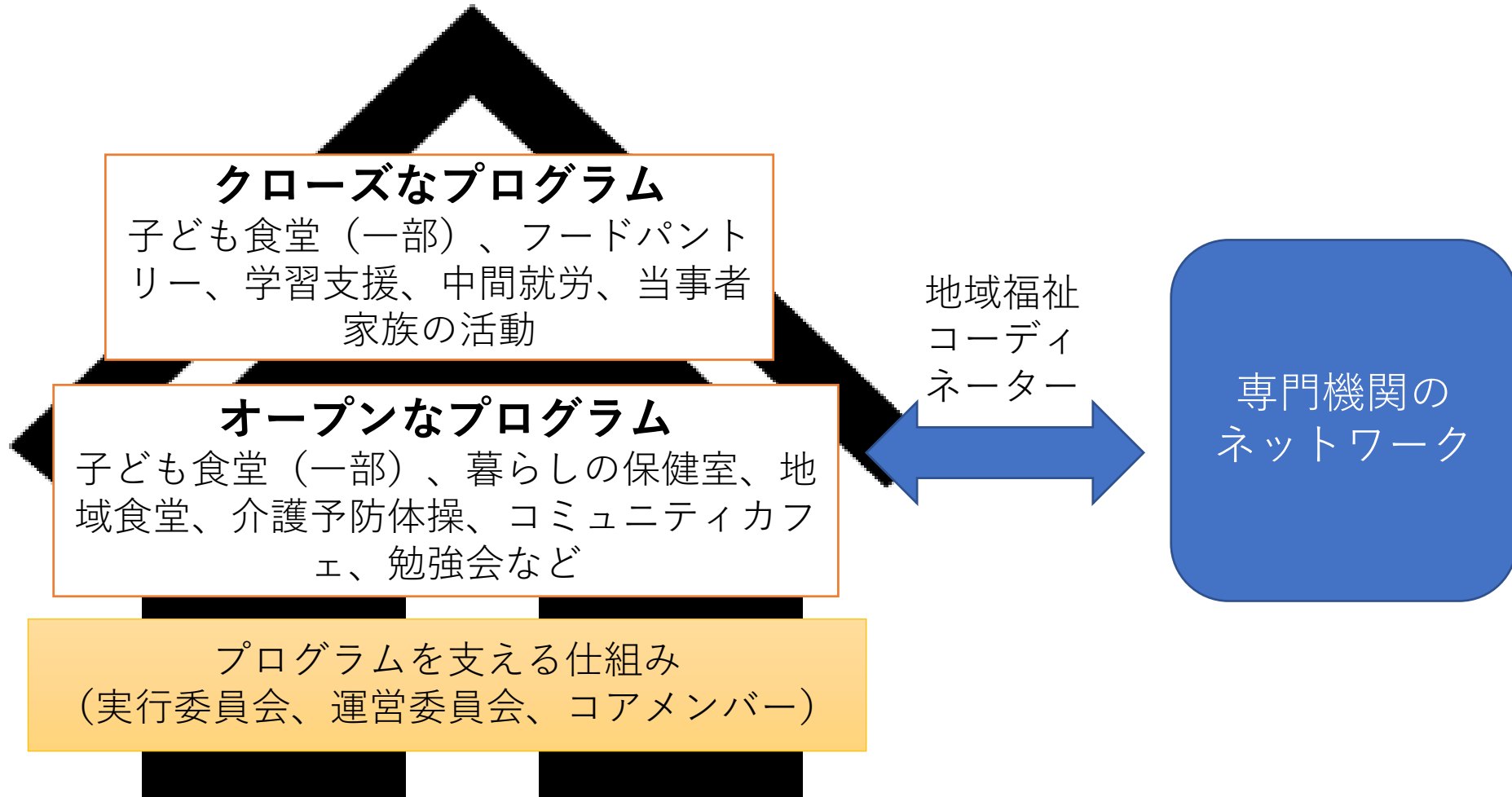


【進め方の様々なパターン】

- 住民主導パターン
- 専門職主導パターン
- NPO法人主導パターン
- 多様な主体協働パターン

それぞれの地域性に合わせて進めていく

多機能な居場所の機能



居場所で行われる様々なプログラム

介護予防・日常生活支援総合事業 通いの場「かよい～の」



- ・ 32 団体（2024年2月現在）
- ・ 介護予防に資する住民の主体的な活動
互助活動

内容 体操、カーレット、吹矢、ボッチャ、
ノルディックウォーキングなど

柔道整復師会との連携

シニア食堂



こまじい食堂



おつまみ会

おもてなし食堂 (小石川3-14-14見樹院)



日時:毎月第4木曜日18:00～
費用:大人300円、子ども無料

地域のパワフルなおばちゃんたちが中心
現在はテイクアウト方式で実施中

中間的就労 チャレンジワーク ワークスペースさきちゃんち

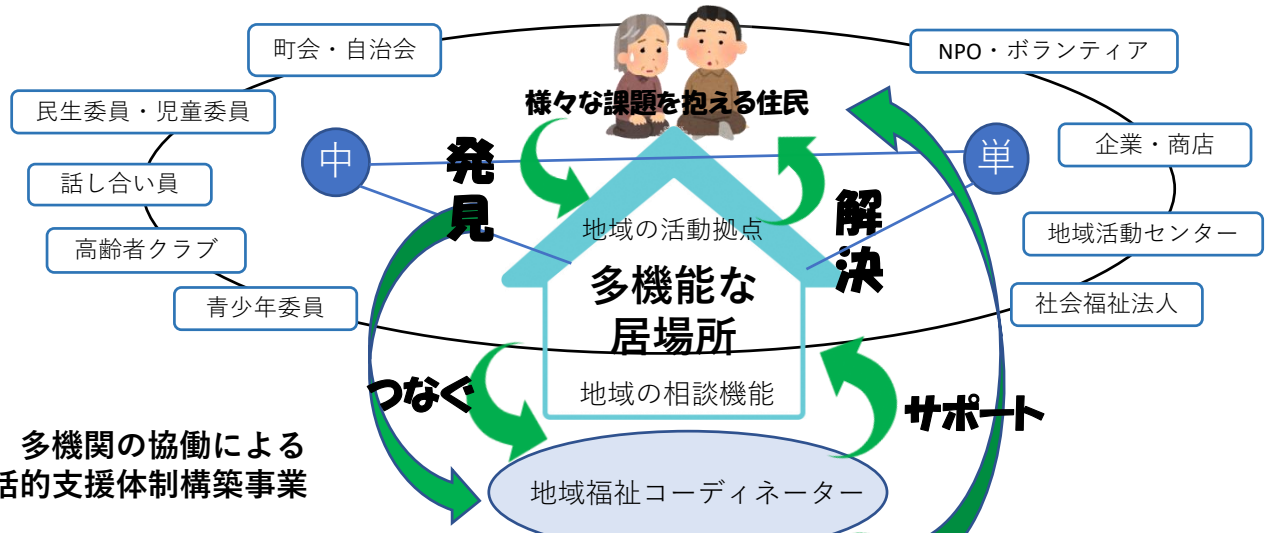


役割をもって参加できる場
ギャラリーに作品を展示、パンを売るお仕事体験
みんなで行う内職活動など
茗荷谷クラブ・ひきこもり支援センターとの連携

「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業イメージ

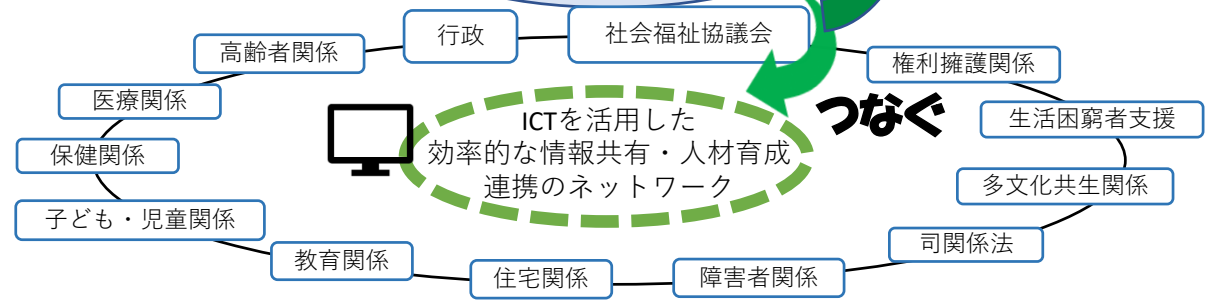
住民に身近な地域
文京区全域

(1) 地域力強化推進事業



- 【居場所の種類】
- 多機能
常設型
総合的活動
(概ね8種類以上の機能)
多世代交流
相談機能
協議体形式で運営
週4～5日の活動
 - 中機能 (地域に複数)
4種類以上の機能
月3～5回程度の活動
 - 単機能 (地域に複数)
1～3種類の機能
交流が中心
月1～2回程度の活動

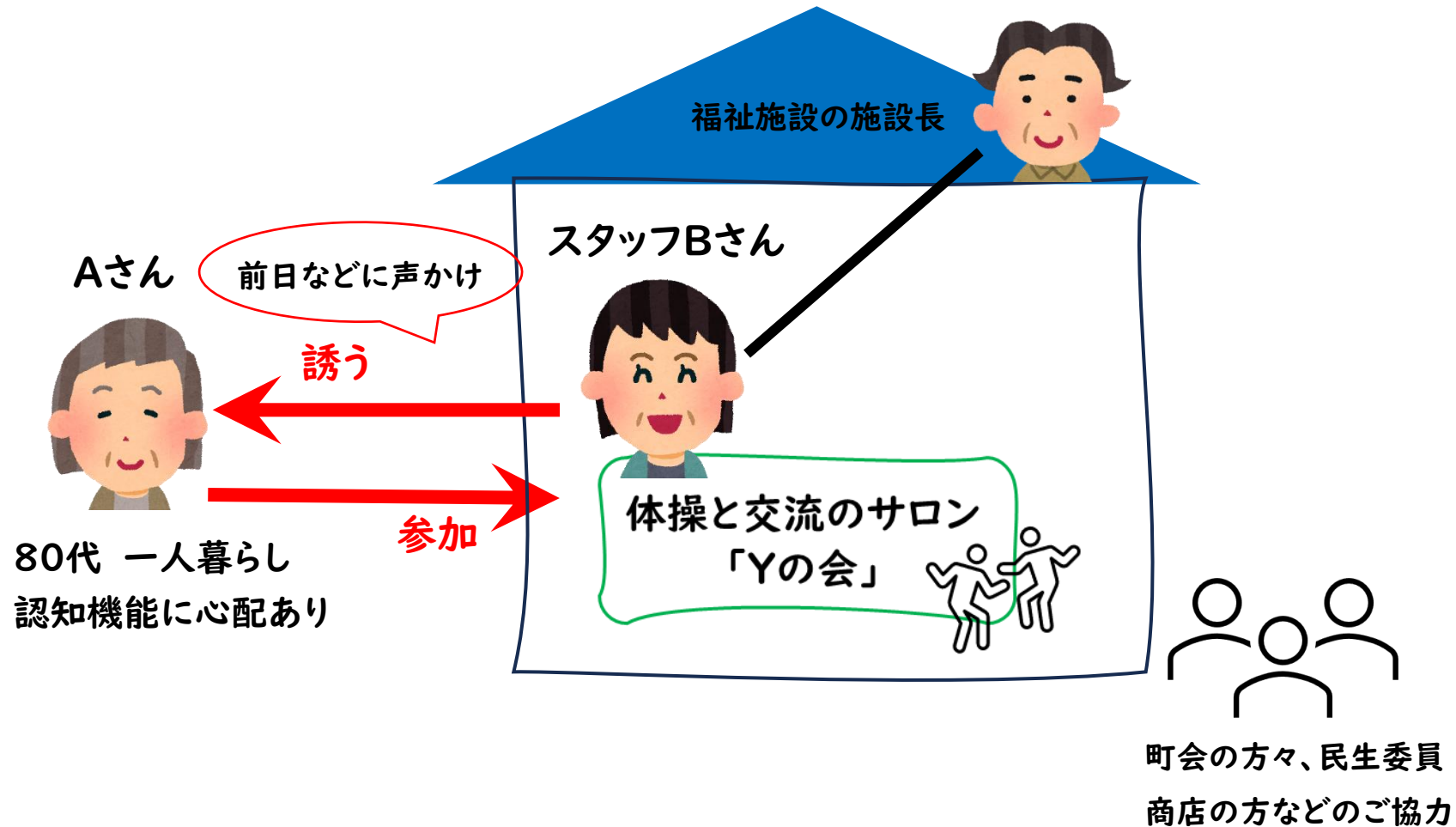
(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業



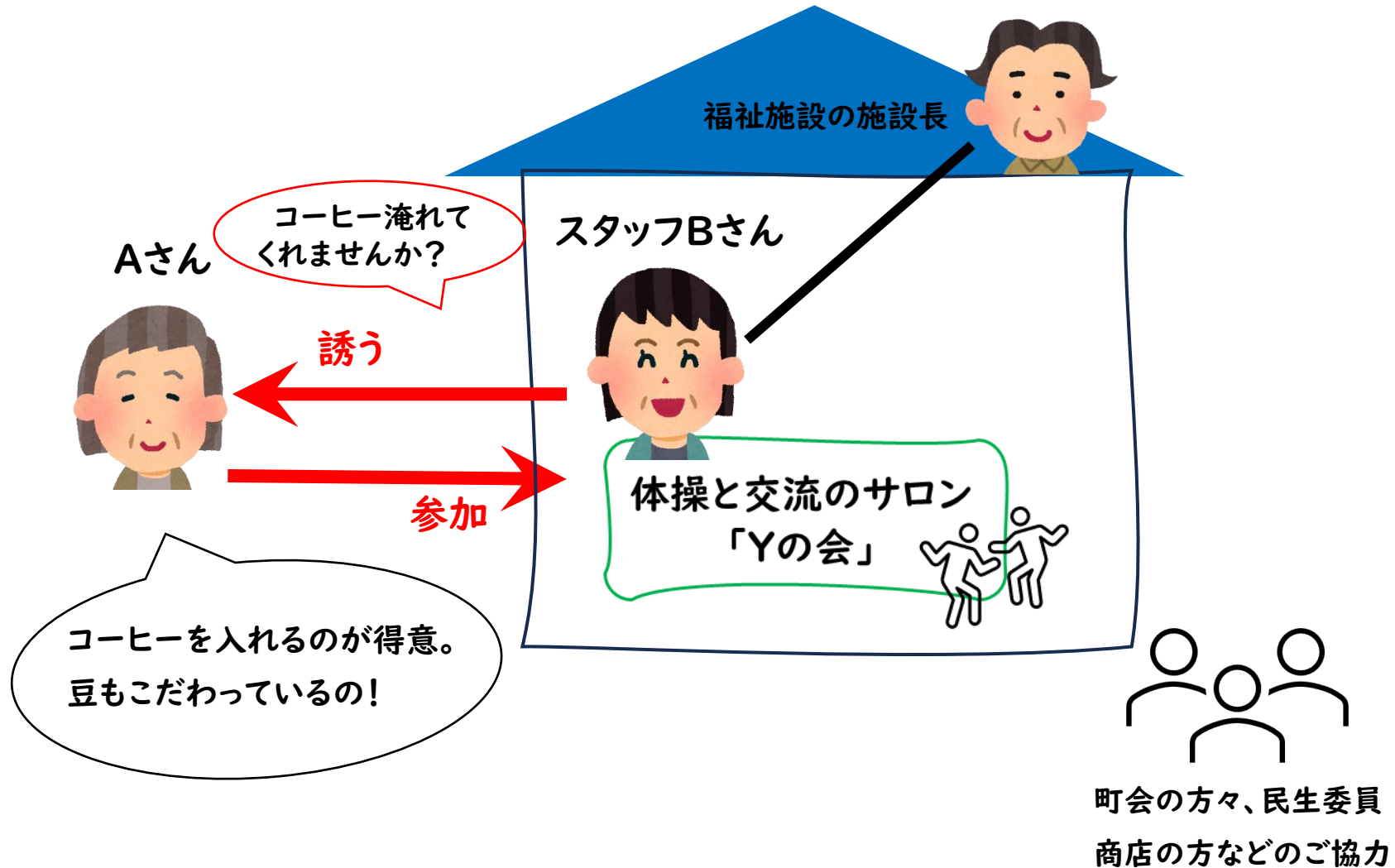
- 【機能の種類】
- ①居場所・交流
 - ②健康づくり
 - ③生活支援
 - ④見守り
 - ⑤相談支援
 - ⑥預かり
 - ⑦住まい
 - ⑧会場提供
 - ⑨教育・学習
 - ⑩就労支援
 - ⑪権利擁護
 - ⑫地域づくり

事例紹介

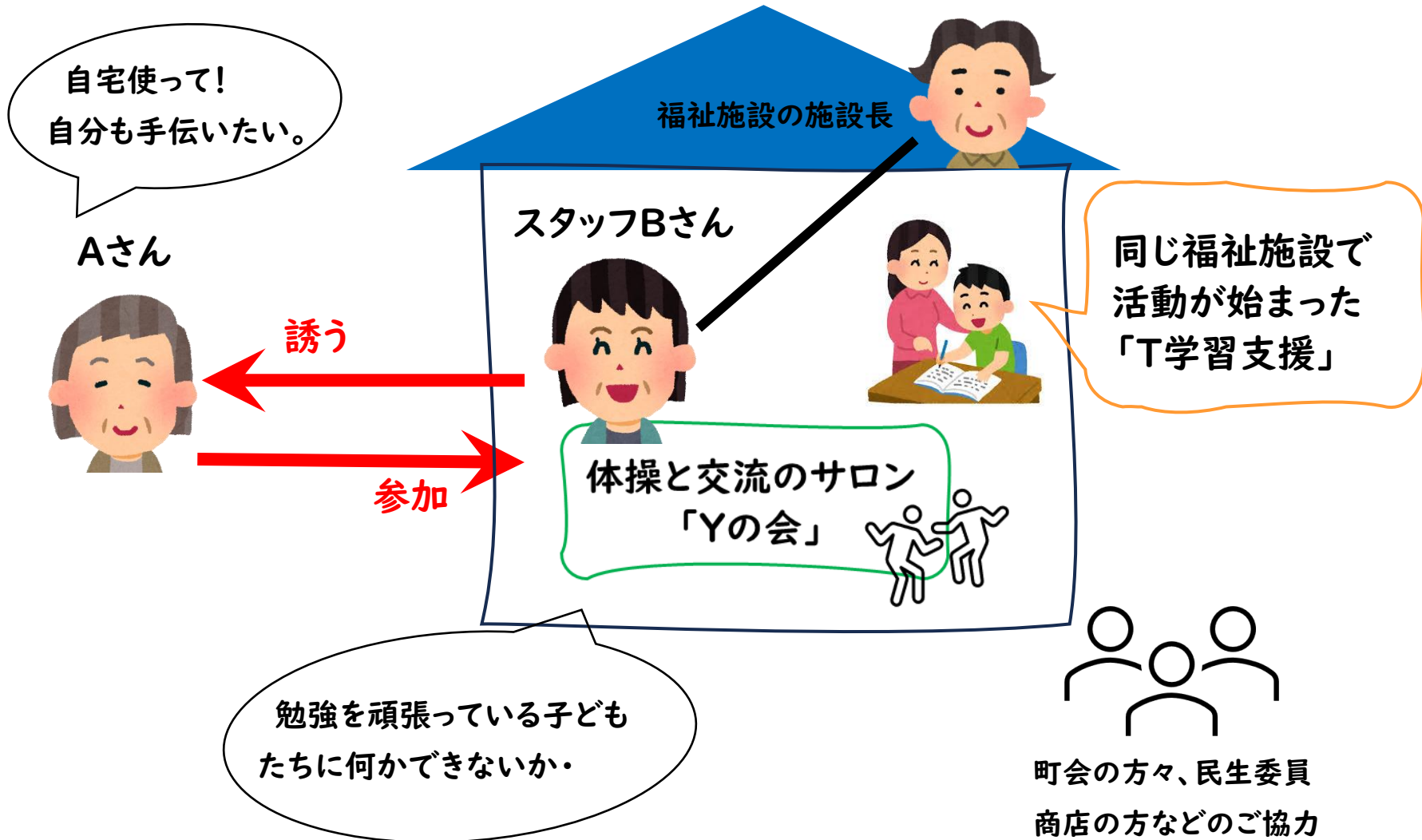
①地域とのつながりづくりの場の立ち上がり→気になる人を誘う



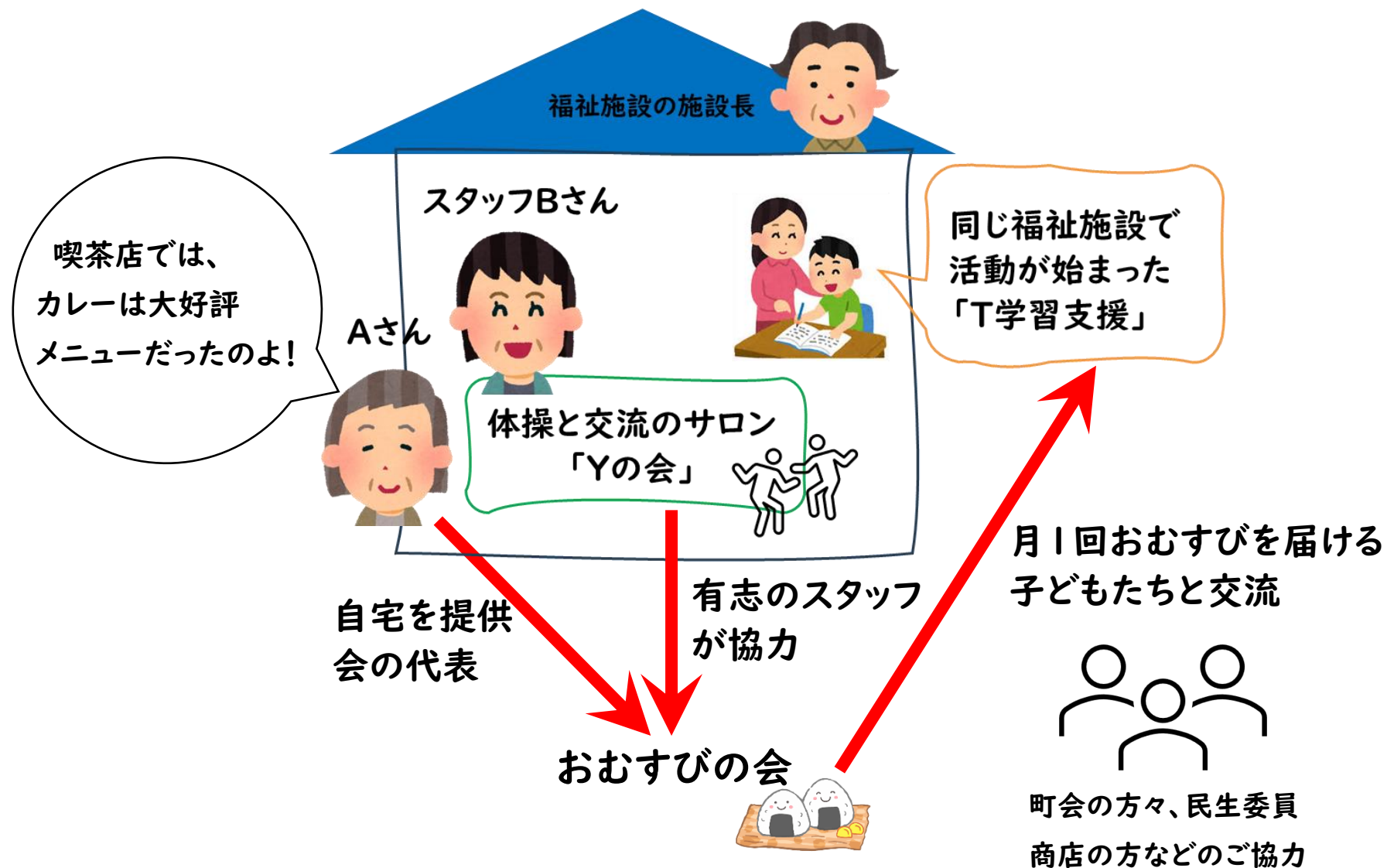
②Aさんの特技を活かした役割創出



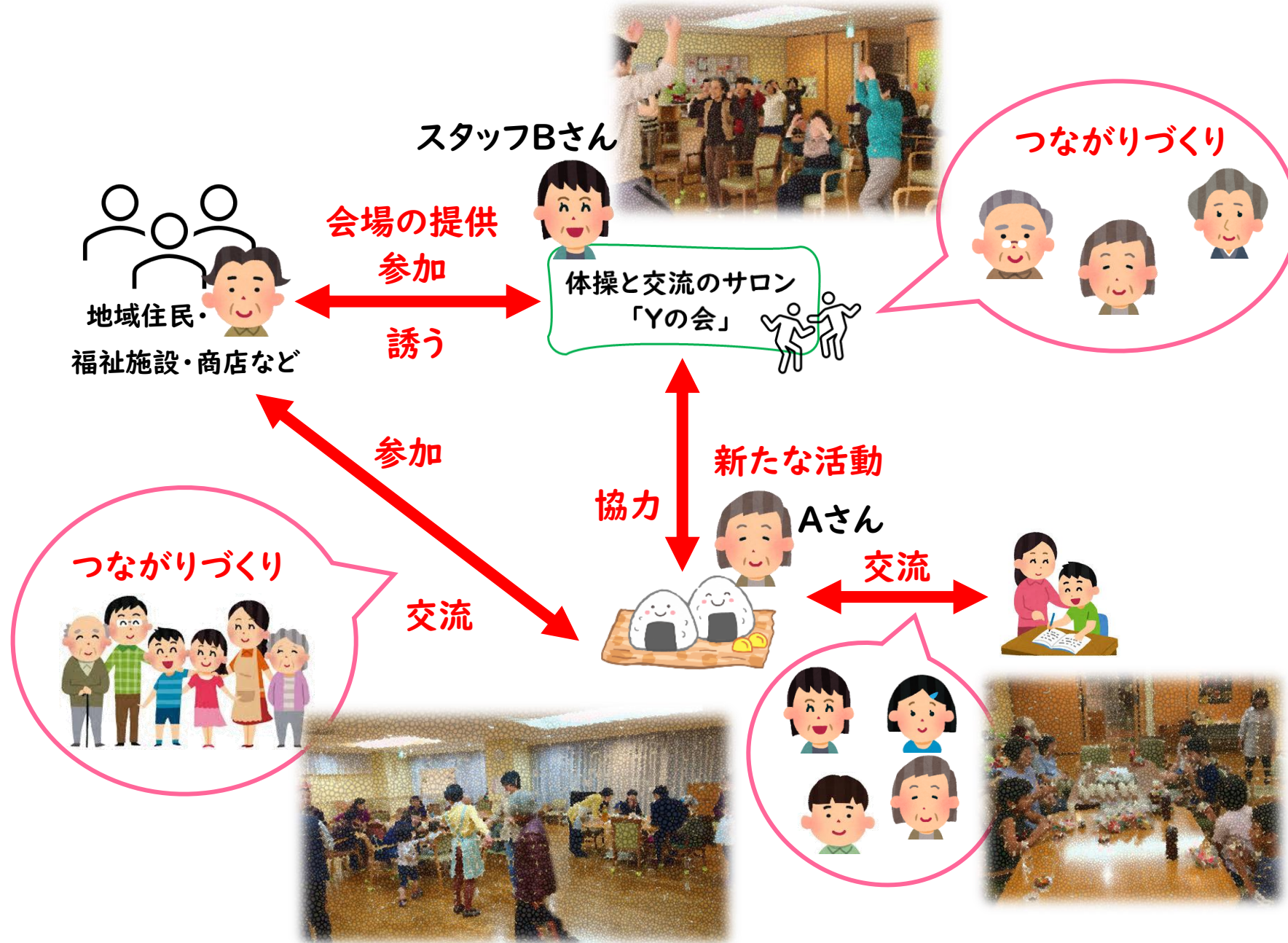
③新たな展開のきっかけ



④新しい活動への発展



まとめ



参考

NHK フクチッチ
「社会福祉協議会とは」



こまじいのうち



地域福祉
コーディネーター



コーディネーター
報告書

